

第1学年 社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 令和2年9月28日（月）公開授業1
学 級 遠野市立遠野中学校 1年2組25名
授業者 教諭 川村 吉

- 1 単元名 第3章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州ー盛んな農業や工業の特色ー
（東京書籍「新編 新しい社会 地理」）

2 内容のまとめ

〔地理的分野〕(1)世界の様々な地域 ウ 世界の諸地域 (エ)北アメリカ

3 単元の目標

- (1) 北アメリカ州の地域的特色を理解するために、アメリカ合衆国を中心とした「農業生産力、工業生産力の高さ」の理由を意欲的に追究する。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 単元を通した学習課題を追究していく過程において、北アメリカ州の地域的特色と課題を歴史的背景、農業の特色、工業都市の分布をもとに考察し、その結果について、地図などを活用してまとめることができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 北アメリカ州に関する統計資料の分析、気温図・主題図・写真の読み取りや比較、関連付けなどの地理的技能を身に付ける。 【資料活用の技能】
- (4) 北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付ける。 【社会的事象についての知識・理解】

4 単元について

(1) 生徒について

- ア 世界の諸地域については、アジア州、ヨーロッパ州の順に学習している。
- イ アメリカについてのイメージをアンケートした結果、面積の大きさやトランプ大統領、自由の女神、ファストフード、ハンバーガー、英語、メジャーリーグなどが挙げられた。
- ウ 主題図の読み取りについて、複数の資料を関連付けて考察する生徒が増えてきている。

(2) 教材について

- ア 学習指導要領解説では「州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること。その際、主題については、州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること」とされている。
- イ 単元を通した学習課題を「なぜ北アメリカは様々な産業が盛んなのか」とし、アメリカ合衆国、カナダの世界貿易に占める地位、小麦やトウモロコシの生産と貿易、農作物の生産分布、工業都市の分布、流通システムなどを追究することで北アメリカ州の地域的特色の理解へとつなげたい。

(3) 指導について

- ア 身近な話題を取り入れ、意欲的に参加しようとする雰囲気を醸成する。
- イ 白地図への書き込みを通して、自然環境の特徴や産業の分布、人口の集中を捉えさせる。
- ウ 主題図や景観写真などの諸資料から読み取れる事実を基に、根拠を明確にして、課題に対するまとめを書くよう指導する。

5 遠野中学校の研究との関わり

【研究主題】「主体的に学ぶ生徒の育成 ～自分の考えをもち、関わり合う授業を通して～」

視点1「課題意識の持続」…前時の復習をすることで、単元を通した学習課題について意識させる。

また、導入場面で関心を高める諸資料(もの・事例等)を活用し、学習課題を設定し、予想を立てさせる。

視点2「達成状況の把握」…課題に対するまとめと振り返りシートに記述する時間を保障し、達成状況を把握する。また、振り返りシートの裏面に白地図を用意し、いつでも記入できるようにしておく。

視点3「学びを深める場の設定」…個人で資料を読み取り、ペアで交流する場面を設け、様々な視点で読み取ることができると実感させる。

6 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>①北アメリカ州を概観する中で、文化や産業に関心をもち、その特色を意欲的に追究している。</p> <p>②日本にも広がるショッピングセンターやファストフードなど、世界に広がるアメリカ文化に関心を持っている。</p>	<p>①アメリカ合衆国が多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方法、経営者のそれぞれの特色から説明している。</p> <p>②北アメリカ州で産業が盛んな背景や現状、課題について、記述したり、意見交換したりしている。</p>	<p>①アメリカ合衆国の大規模で合理的な農業の特色を、主題図や写真などの様々な資料を関連付けて読み取っている。</p> <p>②アメリカ合衆国の大西洋岸や五大湖沿岸と、サンベルトの2つの工業地域などについて、主な工業の種類とそれが発展した理由を比べて、表にまとめている。</p>	<p>①アメリカ合衆国では、移民が産業の発展に重要な役割を果たしてきたことを理解している。</p> <p>②北アメリカに生まれた多くの文化が世界中の人々の暮らしにとけこんでいることを理解している。</p> <p>③地図や写真、主題図などの資料を関連付けて、北アメリカ州の地理的事象を理解している。</p>

7 指導と評価の計画（5時間 ※本時はその2時間目）

時	ねらいと学習活動	重点「評価規準」	評価方法
1	<p>北アメリカ州をながめて 『北アメリカ州の自然環境、文化、産業にはどのような特色があるのか』</p> <ul style="list-style-type: none"> 北アメリカ州の自然や文化、産業の特色について理解する。 白地図に地名や地形名をまとめる（南北、東西の差を大観する）。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> なぜ北アメリカは様々な産業が盛んなのか？ </div>	<p>関心・意欲・態度① 知識・理解①</p>	<p>振り返りシート (裏面)</p>
2 本 時	<p>広大な国土と工業化した農業 『なぜアメリカでは大量に農作物が生産できるのか』</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカの農業の特色を自然環境や経済の発展と関連付けて理解する。 広大な土地を生かした企業的な農業が展開されていることを理解する。 	<p>思考・判断・表現① 技能①</p>	<p>発言 振り返りシート (表面)</p>
3	<p>工業の発展と工業地域 『なぜアメリカ合衆国では工業生産額が増加したのか』</p> <ul style="list-style-type: none"> 五大湖周辺の地理的条件から、工業の変化について理解する。 サンベルトの形成について、中心となる工業の変化を捉え、気候と関連付けて理解する。 シリコンバレーにICT関連企業が集まっており、世界中から技術者や研究者が集まっていることを理解する。 	<p>技能② 思考・判断・表現②</p>	<p>発言 振り返りシート (表面)</p>
4	<p>産業を支える新しい文化と人々 『アメリカの産業や文化は、どのような人々が支えているのか』</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカの歴史について、地図帳を活用してまとめる。 アメリカには、様々な人種や民族が集まっていることを理解する。 ヒスパニック系移民が不法入国する理由を考える。 	<p>関心・意欲・態度② 知識・理解②</p>	<p>発言 振り返りシート (表面)</p>
5	<p>北アメリカ州の学習を振り返ろう 『なぜ北アメリカは様々な産業が盛んなのか』</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートの裏面に、「農業」「工業」「生活・文化」「移民」をキーワードにして、これまでの学習をまとめ、整理する。 	<p>知識・理解③</p>	<p>ノート 振り返りシート (両面)</p>

8 本時の指導

(1) 目標

アメリカの農業の特色について、写真や資料から読み取り、多様な農作物を大量に生産できる理由を考察することができる。 【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開

段階	学習内容	生徒の活動	留意点等 ●評価
導入 5分	1 朝食アンケートの結果 2 小麦とトウモロコシの輸入先 3 学習課題の設定 なぜアメリカでは大量に農作物が生産できるのか？	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をきっかけにして、米、小麦、トウモロコシの自給率について関心を持つ。 日本は小麦、トウモロコシの輸入の大半をアメリカに依存していることを読み取る。 	<p>視点1 資料からの疑問点を課題として設定</p>
展開 35分	<p>4 学習課題に対する予想</p> <p>5 学習課題の追究</p> <p>(1) 気候と土地利用 <ul style="list-style-type: none"> 年降水量が 500mm 以上の東部は、酪農やトウモロコシ、綿花などの栽培が行われている。 </p> <p>(2) 生産方法 <ul style="list-style-type: none"> 耕地面積は広く、機械化による企業的な大規模経営が特徴であり、労働生産性が高い。 飛行機を使って効率よく種まきや農薬散布をしている。 </p> <p>(3) フィードロット <ul style="list-style-type: none"> センターピボットを利用して乾燥した地域でも畑が作られている。 収穫されたトウモロコシは牛を肥育する飼料としても利用される。 </p> <p>(4) 穀物メジャー <ul style="list-style-type: none"> 穀物メジャーが生産・流通・販売のほか、遺伝子組み換え種子の開発など様々な分野で事業を展開している。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対する予想を立て、交流する。 「農業の分布」「年間降水量」の資料から読み取れる特徴をまとめる。 適地適作となっていることを読み取る。 「アメリカ・カナダ・日本・フランスの農業生産性」の資料から、農民1人あたりの穀物収量と耕地面積を比較する。 企業的な農業が行われていることを理解する。 灌漑農業地帯は、センターピボット方式を取り入れることで穀物生産地域となったことを理解する。 地下水を活用していることに気が付く。 アメリカでは農業に関連した諸産業が発達していることを理解する。 穀物メジャーとよばれる多国籍企業が国際市場にまで影響を及ぼしていることを理解する。 	<p>●評価[技能] 大規模な農業の特色について資料を関連付けて読み取る</p> <p>・Google Earth の活用</p> <p>・地下水の枯渇についてもふれたい。</p> <p>視点3 C 5 (1)～(4)の複数の資料を関連付けて考察する</p>
終末 15分	<p>6 課題に対するまとめ</p> <p>アメリカ合衆国では、それぞれの土地の気候に適した作物を育てている。大規模な農場では、少ない人数でも大型機械を利用することで効率よく、大量に生産することができる。現在では、巨大な農業関連産業へと成長している。</p> <p>7 県産小麦とアメリカ産小麦の価格</p> <p>8 振り返りシートの記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題に対するまとめを書く。 2つ価格の違いについて、本時の学習を踏まえ、ペアで理由を確認する。 授業を通して分かったこと、疑問に思ったこと等について、振り返りシートに記入する。 	<p>●評価[思考・判断・表現] 複数の資料を関連付けて農作物を大量生産できる理由を説明している。</p> <p>視点2 振り返りシートの記述による達成状況の把握</p>

(3) 板書計画

9/28(月) 6. 広大な国土と工業化した農業



なぜアメリカでは大量に農作物を作れるのか?

<予想> 面積 人口 生産方法 ...



年降水量500mmを境に
農業地帯と放牧地帯に分かれる。
トウモロコシ地帯は中西部
乾燥地帯→セクター方式

<生産方法> 機械化 大規模経営 <様々な用途>

1haあたりの肥料消費は日本が
最も多い。

農民1人あたりの穀物消費量は

アメリカが多い。

農民1人あたりの耕地面積も

アメリカが多い。

「企業的な農業」

・飼料...牛の餌

→フィードロト

牛肉の消費拡大

<穀物チェーン>

生産 流通 販売

事業を行う

まとめ

アメリカはそれぞれの土地の
気候に適した作物を育てる。
大規模な農場では少ない
人数でも大型機械を利用する
こと効率よく大量に生産する
ことができる。